

# 大豆後作における焼耐用大麦「はるしずく」の 上手な作り方

筑後分場

## 1 背景、目的

近年の焼酎ブームの影響で、麦焼酎の原料となる大麦の需要が高まり、焼酎適性が優れる二条大麦品種とその安定栽培技術が強く求められています。このような中で、新たに焼耐用二条大麦品種「はるしずく」を育成しました。

一般に、大豆後作の場合は、碎土が良好で出芽や初期生育が安定する反面、生育が過剰になりすぎて倒伏しやすくなるという欠点があります。

そこで、筑後地域の大豆後作で倒伏することなく多収で、品質が優れる栽培方法を明らかにしました。

## 2 成果の内容、特徴

(1) 大豆後作においては、10 a 当たり播種量を 8.3 kg から 5.6 kg に減らすことで、倒伏程度が小さくなり、整粒歩合が向上し、収量が多くなります(表1)。

(2) 通常、大豆後作の大麦の施肥基準は 10 a 当たり 3 + 4 + 2 (基肥 + 1 追 + 2 追) ですが、はるしずくでは基肥を省略すると、稈長が短くなり倒伏も少なくなつて、千粒重が大きく、収量も多くなります。さらに、精麦特性も向上します(表2)。また、12月中旬の遅播きでも、収量・品質が優れます(データ略)。

### 3 主要なデータ

表1 播種量別の生育および収量

播種量	穂数	倒伏程度	整粒歩合	子実重
kg/10a	本/m <sup>2</sup>		%	kg/a
5.6	689	3.3	66	40.5
8.3	765	4.1	49	30.0

- 注) 1. 平成17~18年度の平均  
 2. 播種期は12月1日。窒素施肥法(Nkg/10a)は3+4+2(基肥+1追+2追)。  
 3. 倒伏程度は0(無)~5(甚)の6段階評価。

表2 施肥法別の生育、収量および品質(平成18年度)

施肥法	稈長 cm	穂数 本/m <sup>2</sup>	倒伏程度	子実重 kg/a	千粒重 g	容積重 g/L	精麦特性		
							精麦時間 秒	精麦白度	正常粒率 %
3+4+2	100	686	3.5	43.5	48.0	705	193	41.6	92.4
0+4+2	92	601	0.0	52.7	50.4	722	169	42.7	96.7

注) 播種期は12月1日。播種量は5.6kg/10a。



写真1 収穫時期の様子(左図:倒伏程度 0、右図:倒伏程度 4)